



2023年3月期第2四半期 決算説明会資料

November 11, 2022

免責事項

- ◆ 本資料は、株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイド（以下：当社）の業界動向、事業内容について、当社による現時点における予定、推定、見込又は予想に基づいた将来展望についても言及しています。
- ◆ これらの将来展望に関する表明の中には、様々なリスクや不確実性が内在します。すでに知られたもしくは未だに知られていないリスク、不確実性その他の要因が、将来の展望に関する表明に含まれる内容と異なる結果を引き起こす可能性があります。
- ◆ 当社の実際の将来における事業内容や業績等は、本資料に記載されている将来展望と異なる場合があります。
- ◆ 本資料における将来展望に関する表明は、2022年11月11日現在において利用可能な情報に基づいて当社によりなされたものであり、将来の出来事や状況を反映して、将来展望に関するいかなる表明の記載も更新し、変更するものではありません。

INDEX

— 01 ・ 注目ポイント

1. hot topics

— 02 ・ 2023年3月期 第2四半期実績

1. earnings result
2. activities-expenses
3. activities-by segments ①media business
4. activities-by segments ②solution business
5. activities-operating profit
6. activities-service development
7. activities-solution business
8. activities-media business
9. activities-new service

— 03 ・ 今後の事業戦略

1. strategy-web3.0 technology
2. strategy-business formation
3. strategy-next stage

— 04 ・ 総括

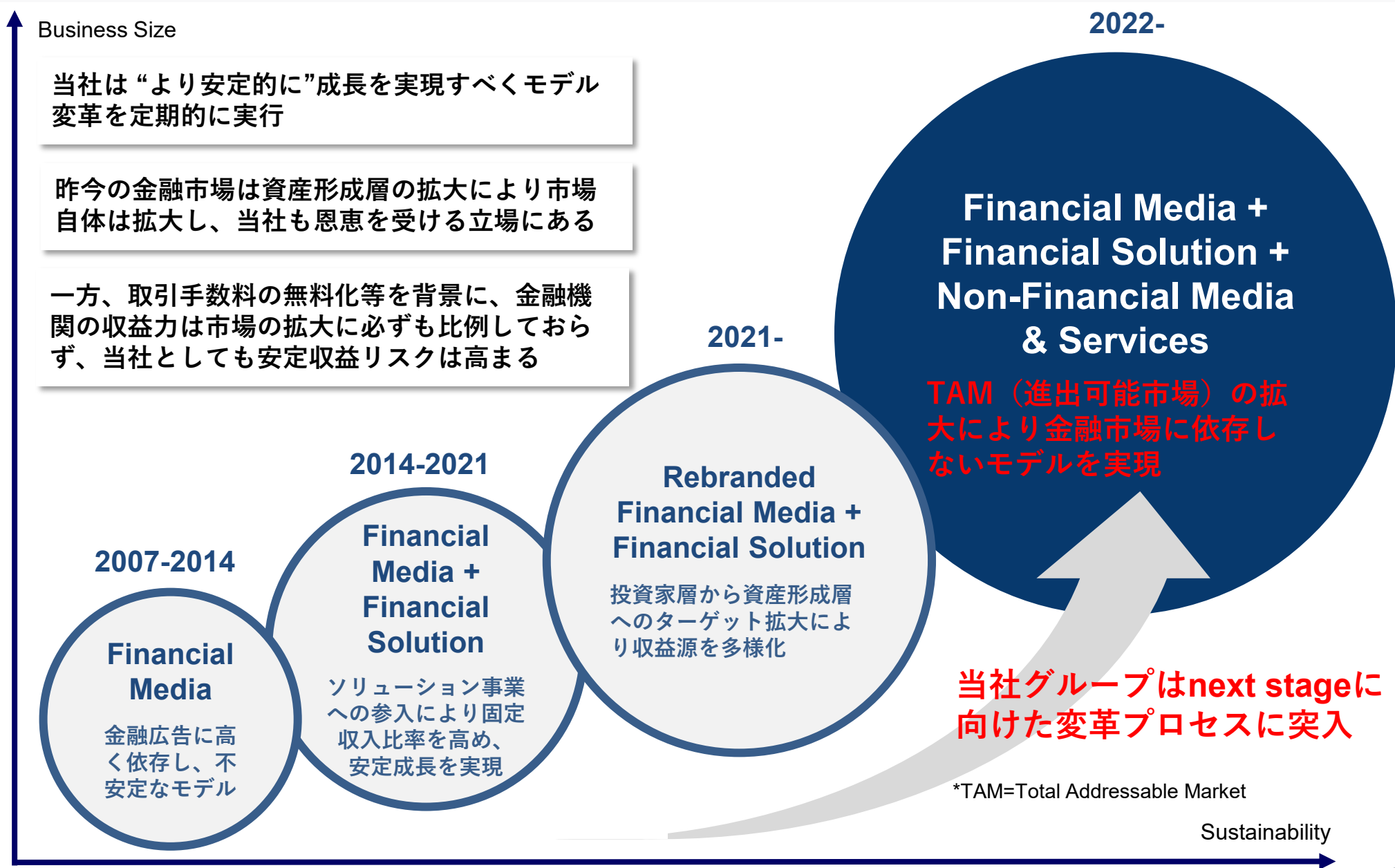
1. executive summary

— 05 ・ APPENDIX

1. income statement
2. balance sheet items
3. sales by segment
4. fixed expenses

01

注目ポイント hot topics



9月28日に株式会社ライブドアの完全子会社化を発表

対 象 会 社	株式会社ライブドア
取 得 方 法	LINE(株)が新たに設立する完全子会社、(株)ライブドアに対して吸収分割によりlivedoor事業（次頁参照）を承継させた上で、全株式を取得
事 業 規 模	売上高 約40億円・営業利益 約10億円（当社によるデューデリジェンスの結果を踏まえた当社推定値） 【参考】22/3期 当社連結実績：売上高 54.8億円・営業利益 8.7億円
譲 渡 価 額	71億円
資 金 手 当	全額もしくは大半を銀行借入
ク ロ ー ジ ン グ	2022年12月28日（みなし取得日：同年10月7日、事業承継日：同年12月1日、ともに予定）

LINE

事業承継




livedoor®

完全子会社化




MINKABU
THE INFONOID

livedoor事業概要

圧倒的なブランド認知と共に、約7,000万人の利用者*、約2,400万のSNSフォロワー**を有する国内有数のネットメディアサービス群を展開



livedoor® Blog



国内最大級ブログサービス
「ライブドアブログ」

livedoor® NEWS



業界トップクラスのアクセス数
SNSフォロワー数
「livedoorニュース」

Kstyle



国内最大級の韓国エンタメ
ニュースサイト
「Kstyle」

* 「ライブドアブログ」「livedoorニュース」「Kstyle」3サービスの2021年度平均利用者数合計値。「ライブドアブログ」についてはデイリー閲覧者数の年間平均値、「livedoorニュース」「Kstyle」については月間利用者数の平均値

** 「ライブドアブログ」「livedoorニュース」「Kstyle」3サービスの2022年9月現在のSNS（LINE、Twitter、Facebook、YouTube）フォロワー数の合計値

子会社化の意義：拡大と向上と克服

投資家層から生活者
全般へリーチ更なる成長基盤の
構築ステップへSEO依存から脱却し、
多種多様なサービスを
自社メディアで訴求可能にTAM*の
大幅拡大保有資産・
ノウハウの
利用価値の
向上マーケティング
力の強化

2022年3月期UU数

876万人**

AI

国内有数の
ユーザー基盤

NFT

2,400万人**の
SNSフォロワー

本件実施後UU数

約10倍の
8,000万人規模***

Digital Marketing

動画を活用した集客

Token

広く認知された
ネットサービスブランド

etc.

etc.

*進出可能市場

**「MINKABU」「Kabutan」の2021年度の月間平均利用者数

***上記の当社UU数と「ライブドアブログ」「livedoorニュース」「Kstyle」の2021年度平均利用者数の合計値

両社の補完関係とシナジー



具体的シナジー

主なユーザー獲得ルート	SNS	SEO	当社のSEO依存からの脱却及びライブドアのSEO強化によるユーザー獲得力の向上
主なユーザー層	生活者	投資家	ユーザー基盤の共有による事業領域の拡大
ニュースコンテンツ	キュレーション	自動生成/ オリジナル	当社の投資・資産形成ニュース、AI技術を活用した金融・経済やスポーツの速報ニュースを提供し、livedoorニュースの取扱情報の大幅な拡充
ブログコンテンツ	ライフスタイル	投資・資産形成	個人投資家のインフルエンサー化によりライブドアブログにおける投資・資産形成分野の強化
共通点（親和性）	情報（PGC）メディア運営ノウハウ ソーシャル（UGC）メディア運営ノウハウ		広告営業、システム、カスタマーサービス等、両社の連携によるリソースの有効活用

今後のメディアマーケティング戦略

TVやYouTube等のマスメディア

出稿



マス層

MINKABU

資産形成層



株式投資家層

マス層の獲得手段としてのライブドア
有効活用とSEO依存からの脱却

- これまで相対的に広い利用者層を有するMINKABUをマス広告の対象としてきたが、今後は更に広いユーザー層を対象としているlivedoorをマス出稿の主たる対象とし、当社既存サービスはlivedoorへ出稿することで、より効率的な集客を目指す
- これまでのSEOに高く依存した集客体制を見直し、Googleの検索アルゴリズムの変更による当社業績への影響を抑制

メディア事業の成長戦略

01 BRAND

livedoor
ブランドの利活用

02 UI / UX

品質の向上、ユーザビリティの改善、ロゴ・UI等、ブランドイメージの統一

03 FUSION

メディア連携、SNS・動画ノウハウの利活用

04 ASSET

当社保有のコンテンツ資産、自動生成技術、NFT技術等の活用範囲の拡大

05 CLIENT

金融機関を中心に400社を超える顧客基盤を活用

06 INVEST

M&A待機資金の活用によるメディアプラットフォーム強化

- livedoorを当社グループメディアの新たなポータルとして利用
- サービスのトラフィック成長／収益源の多様化と収益構造の改善
- 最新テクノロジーの利活用によるプラットフォームとしての進化

livedoor事業グループ化後の取り組み ～総合アフィリエイトサイト「livedoor Choice（仮称）」の構築～



当社のアフィリエイトサイト運営ノウハウと livedoorの大規模トラフィックの融合

- これまで金融分野で展開してきたアフィリエイト事業を非金融分野まで拡大した、総合アフィリエイトサイト「livedoor Choice（仮称）」を年内にローンチ予定
- これまでSEOに高く依存したビジネスモデルであったが、livedoorの大規模トラフィックを生かし、ローンチ時より安定した高収益の獲得を目指す
- 総合アフィリエイトサイト以外にも当社金融・経済ニュースのlivedoorニュースへの配信や広告のパッケージ販売等を早期に実施予定

※開発中の画面イメージであり、実際のサービスとは異なる可能性があります。

売上「**17.0%増**」と堅調に推移、Q2減益も概ね計画に沿った着地

(百万円)	21年3月期	22年3月期	23年3月期	
	第2四半期	第2四半期	第2四半期	前期比
	(連結)	(連結)	(連結)	
売上高	1,766	2,427	2,840	+17.0%
営業利益	262	304	162	-46.6%
営業利益率	14.9%	12.5%	5.7%	-6.8%<small>対1</small>
経常利益	247	265	83	-68.7%
親会社帰属四半期純利益	131	149	5	-96.5%
EBITDA	501	623	529	-15.1%
1株当たり利益 (円)	9.54	10.28	0.35	-9.93円

継続した広告宣伝費やサービス拡大への 積極投資を実行

前年同期比で第2四半期利益に影響した主な費用・子会社の影響（通期計画に織り込み済み・単位：百万円）

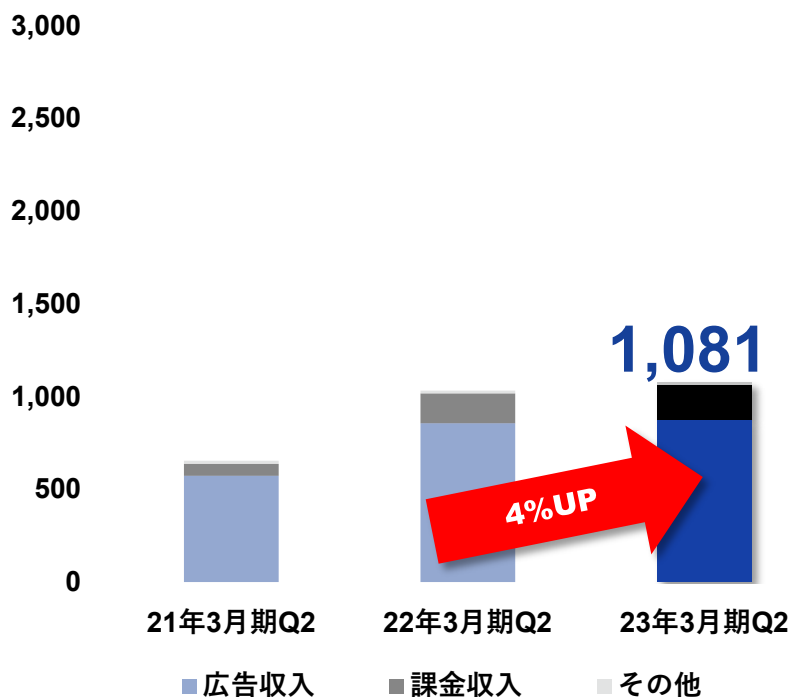
内容	計上区分	主なセグメント	前Q2	当Q2	増減	概要
シ・ローン組成費用	営業外費用	全社	－	76	76	ポジティブ・インパクト・ファイナンス（PIF）によるシ・ローン組成費用
① 第1四半期固有の費用			－	76	76	
人件費	原価・販管費	全社	515	617	102	前期Q2末から27名増。当Q2で23名採用
② 人的投資			515	617	102	
広告宣伝費	販管費	メディア	163	222	59	積極的な広告活動を継続
米国株用データ・インフラ保守費用	売上原価	ソリューション	124	240	116	導入拡大への先行投資を継続
減価償却費（のれん償却費除く）	原価・販管費	メディア/ ソリューション	274	318	43	新サービスを含めた継続的な投資による増加
③ 広告宣伝・サービス拡大による投資			561	781	220	
ミンカブアセットパートナーズ		ソリューション	－	18	18	2021年9月設立
ミンカブWeb3ウォレット		ソリューション	－	23	23	2022年5月連結子会社化
④ 新規子会社の営業損失			－	42	42	
①～④ 合計			1,076	1,517	440	

MEDIA

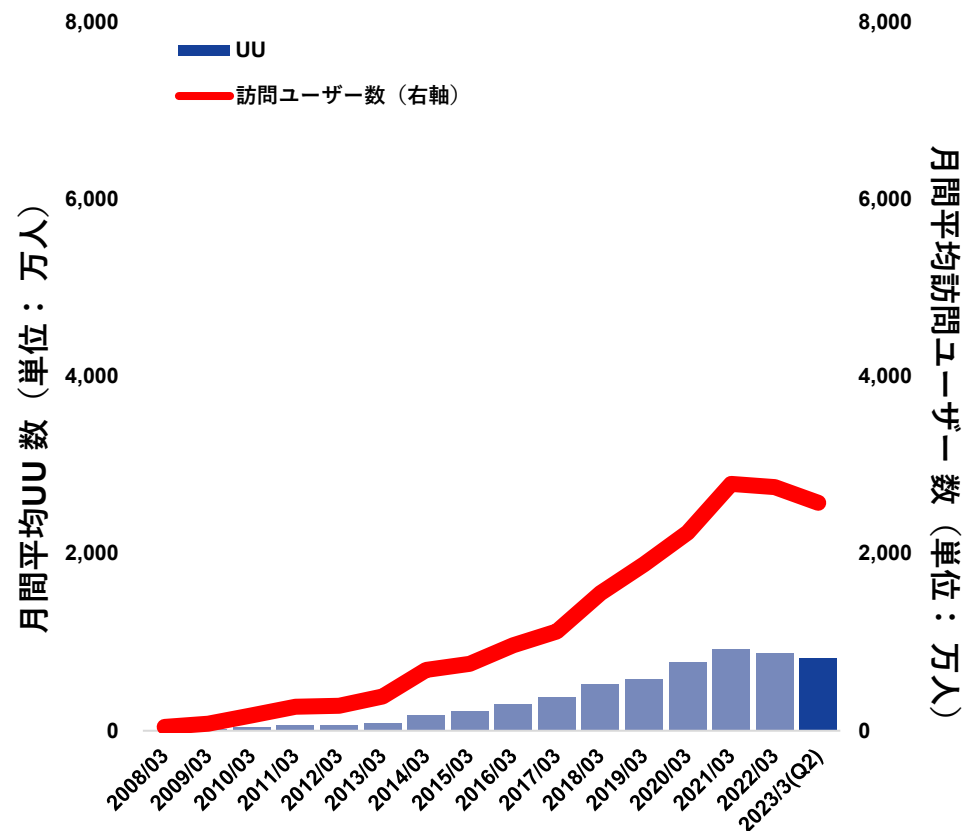
安定成長を継続も、広告収入はGoogleや市場の影響等を受ける

- 広告収入は堅調に推移するも、Googleのアルゴリズム変更や口座数推移鈍化等の影響を受ける
- 課金収入は堅調に拡大

(百万円)



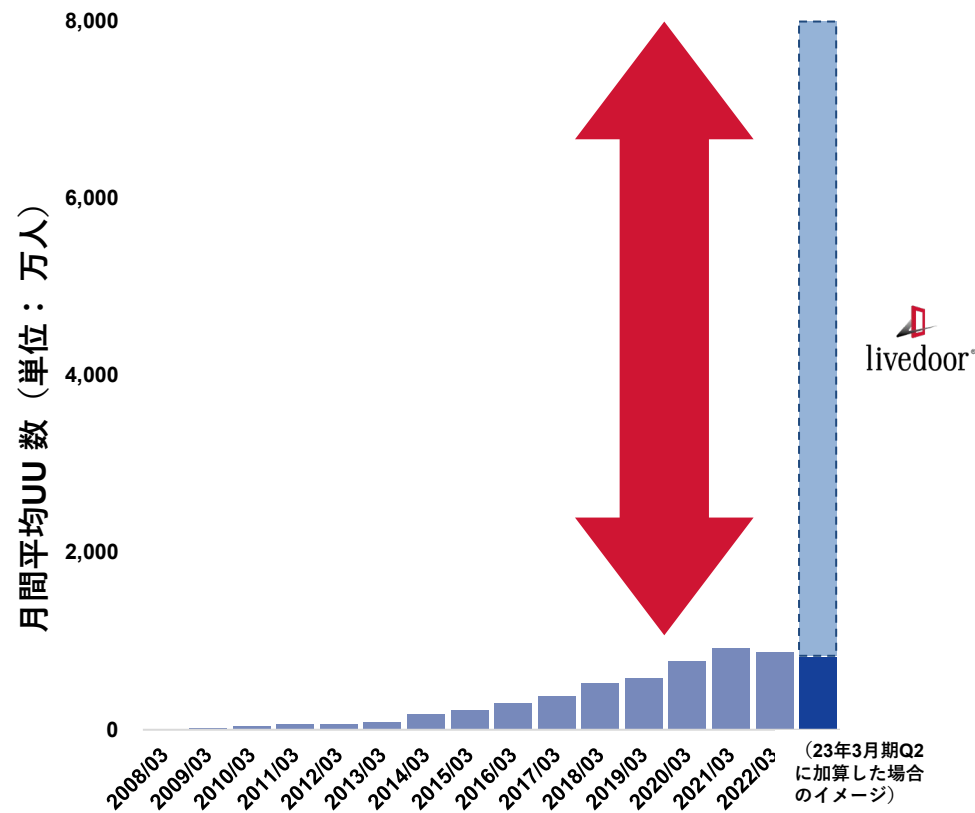
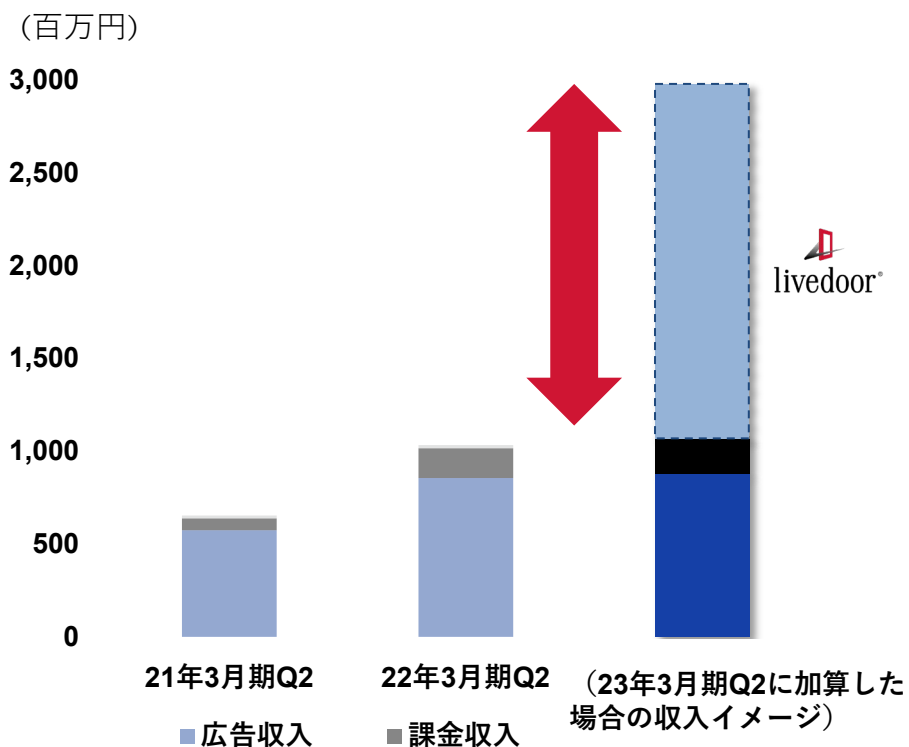
- 市況悪化によるトラフィック減少は想定内



(注) 本ページに記載の業績に関する情報は当社推計値です。

【参考】livedoor事業を加算した場合のメディア事業収入のイメージ

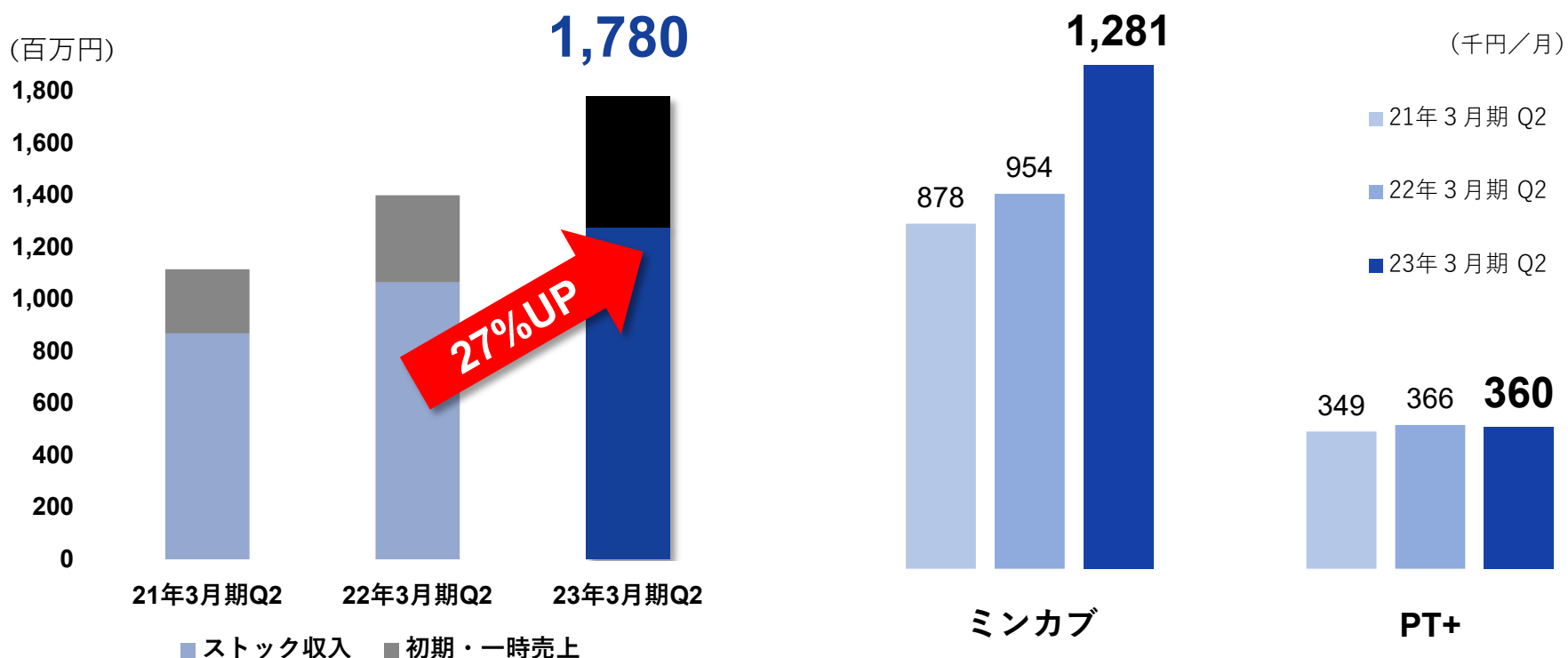
- livedoorの大規模トラフィックを背景とした広告収入の増によりメディア事業収入は大幅拡大の見通し
- グループ内誘導の利活用により、Googleアルゴリズムの変更や金融市場の影響は今後限定的に
- 当社グループの月間UU数は約8,000万UU数となり、これまでの約10倍の規模となる見通し
- 広告収入基盤の強化に加え、大規模トラフィックを最大限に活用した集客・マーケティング力の向上・NFT技術の導入によるユーザーエクスペリエンス展開へ



SOLUTION

期初計画通りの増収を達成、大口獲得に加え新規SIも好調

- 大口契約によるストック収入の増加に加え、今後のストック収入増に繋がる初期導入も堅調
- 新規参入のSIソリューションも好発進
- ミンカブのARPUは大口のストック契約獲得により大幅増



会社別営業利益内訳

Prop Tech plus(株)は大幅増収、 新規連結対象子会社もQ3以降本格稼働開始へ

注：各子会社はのれん、顧客資産等の償却控除後利益（22年3月期Q2の連結調整はミンカブ・PT+へ含めて表示しております）
略称）当社：ミンカブ、Prop Tech plus(株)：PT+、ロボット投信(株)：RF、
(株)ミンカブアセットパートナーズ：MAP、(株)ミンカブWeb3ウォレット：MW3W

(百万円)



- 主にミンカブ単体での投資先行状況をProp Tech plus(株) (PT+) でカバー。ロボット投信(株) (RF) は収支均衡レベルへ
- 新規連結対象の2社（(株)ミンカブアセットパートナーズ (MAP)、(株)ミンカブWeb3ウォレット (MW3W)）は、MAPが金融商品仲介業登録次第、営業を開始予定。MW3WはQ3以降に本格的な顧客獲得フェーズへ

(参考) livedoor事業を加算した場合の営業利益／EBITDAイメージ

営業利益

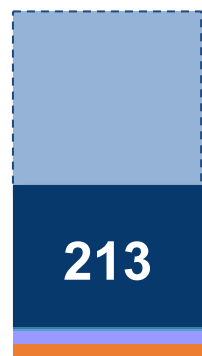
- livedoorの大規模トラフィックを背景とした広告収入増により、営業利益は大幅増
- これまでの季節要因や金融市場の環境変動による影響を上回る収益力を獲得

(百万円)



22年3月期Q2

ミンカブ(293)
PT+(33)
RF(-22)



(23年3月期Q2に加
算した場合の営業利
益イメージ)

livedoor®
ミンカブ(99)
PT+(114)
調整額(-3)
RF(-4)
MAP(-18)
MW3W(-23)

EBITDA

- のれん償却や減価償却費考慮後のEBITDAは更に大きく伸長

(百万円)



22年3月期Q2



(23年3月期Q2に加算した
場合のEBITDAイメージ)

livedoor®

米国株情報の強化（メディア事業）

MINKABU



- より初心者を意識した、米国株情報2022年11月10日サービス開始

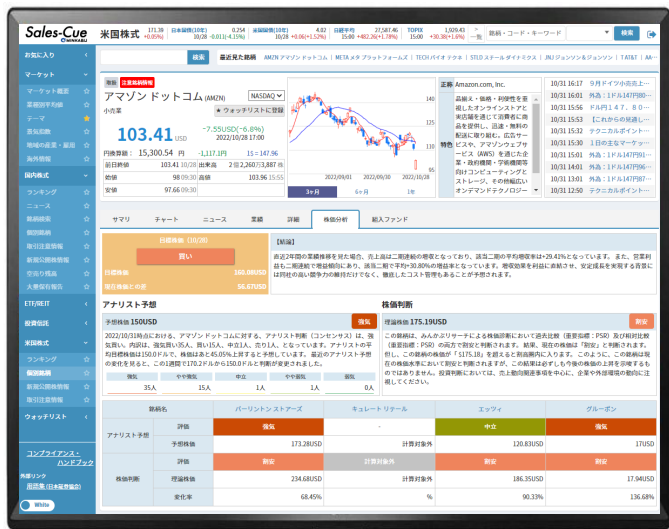
- 要望の多かった株価のリアルタイム化・業績データの拡充

The screenshot shows the MINKABU website interface. At the top, there are navigation tabs for '米国株TOP', 'マーケットイベント', 'ニュース', '学習/お得情報', and 'アセプラで資産管理'. Below this is a search bar and a grid of market indices including NYダウ, S&P500, ナスダック, TOPIX, 日経平均, 米ドル/円, and ユーロ/ドル. A section titled '米国株' displays various stock tickers with their current prices and percentage changes, such as AAP (138.88, -4.24%), AMM (60.11, +2.52%), MMZN (89.30, -3.06%), GOO (83.43, -4.07%), INT (27.39, -0.11%), KK (58.78, -0.05%), MMFS (88.91, -1.80%), and MSF (214.25). Below the tickers is a 'ニュース' section with a featured article about the Dow Jones index and a '本日の市況' section with a line chart for the NYダウ index.

The screenshot shows the Kabutan Premium website interface for Microsoft (MSFT). At the top, there are market indices for NYダウ, S&P500, and ナスダック. Below this is a search bar and a navigation menu. The main content area displays detailed information for MSFT, including its current price of \$214.25, a price change of -5.85 (-2.66%), and various financial ratios like PER (22.2倍), PBR (9.59倍), and 利回り (1.16%). There is a section for '今期の業績推移' (This Quarter's Performance Trend) with a table showing quarterly data from 2014.06 to 2022.06. The table includes columns for '売上高' (Sales), '営業益' (Operating Profit), '経常益' (Recurring Profit), '最終益' (Final Profit), '修正1株益' (Adjusted EPS), and '1株配' (Dividend). Below the table is a '3ヶ月決算' (3-Month Financial Statement) section with another table showing quarterly data from 2013.12 to 2014.12. On the right side, there is a '株探からののお知らせ' (Notice from Stock Search) section and a 'NYダウ' (NY Dow Jones) section with a line chart showing the index's performance over time.

米国株情報の強化（ソリューション事業）

メディア事業で展開するビッグデータ・クラウドインプット・AIのコア・アセットを利活用し、
情報ソリューションサービスの付加価値向上に



※画面イメージ
MINKABU Sales-Cue

主な独自コンテンツ	概要
米株テーマ情報	マーケットテーマ（メタバース等）毎に関連銘柄を紐づけ
米株キーワード	日本語・略称だけではなく、保有ブランド名称（アマゾン ドットコム＝AWS）で検索可能
米株株価分析	アナリスト評価に加えて、独自のAI分析による理論株価の 算出
米株ビジュアル決算	決算情報をAI分析し、決算評価を5段階で表現
米株ニュース	投資家が知りたい情報をニュースで提供
米株コーポレート・ アクションデータ	証券会社の勘定系システムにインプットが必要な コーポレートアクションデータの提供



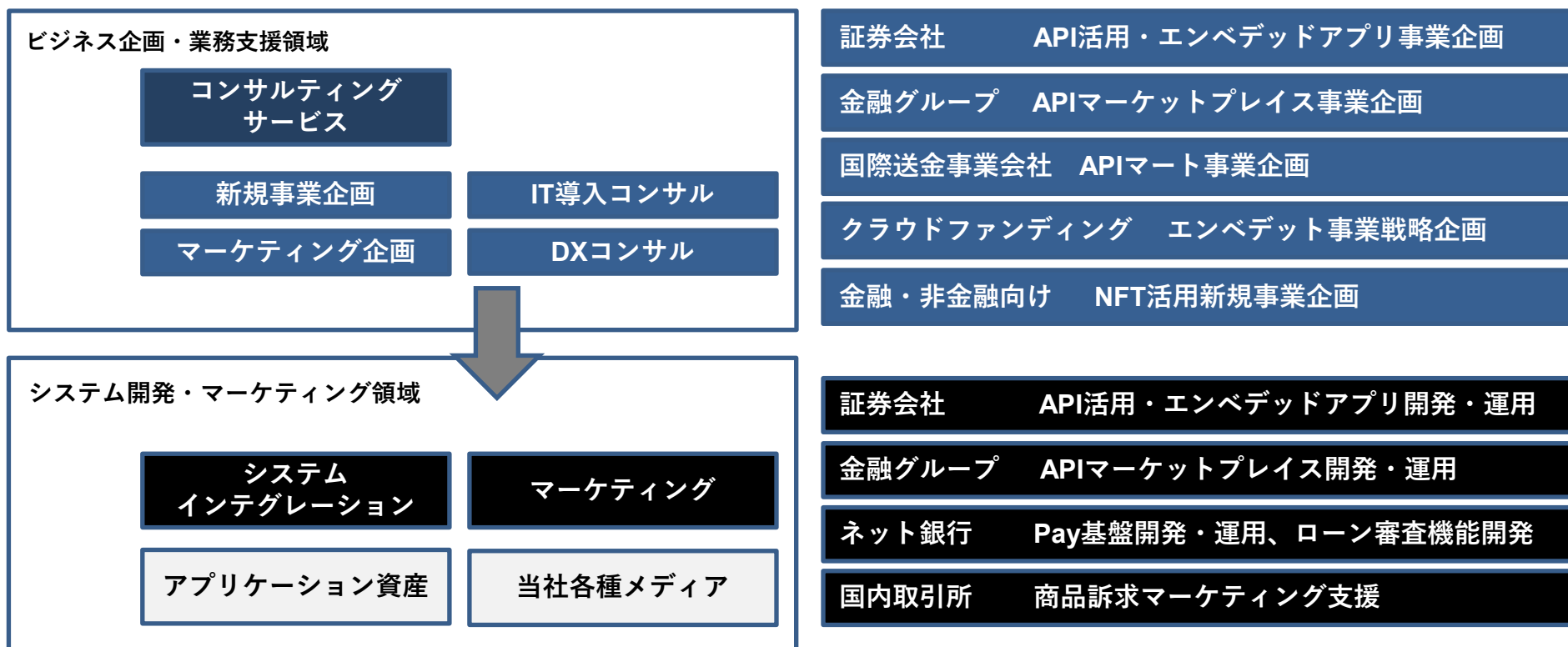
マーケット情報ベンダー分野でメインベンダーのポジション確立 ～松井証券様向け日本株投資総合情報ツール提供開始～



- 大手ネット証券である松井証券株式会社の顧客向けに、日本株投資総合情報ツール（同社におけるサービス名称「マーケットラボ」）を2022年7月より提供開始
- これまで、証券会社を中心とした複数の金融機関向けに、提供してきたマーケット情報系ソリューションを集約した日本株フルパッケージサービスの初導入
- 今後、本サービスで構築したシステムを基に、他の金融機関向けの日本株投資総合情報ツールへ展開予定

SIコンサルティングソリューションの受注拡大

新規事業企画を中心としたコンサルティングサービスから、SI・マーケティングまでワンストップサービスの受注が拡大。これまでの証券中心の顧客基盤であったが、銀行・非金融事業会社の顧客化も進展



NIKKEI ID x MINKABU ASSET PLANNER 1,000万人の日経IDユーザーへOEM提供開始

MINKABU
ASSET PLANNER

NIKKEI ID

Quick

ライフプランシート



OEM提供



日経ID
ユーザ送客

NIKKEI
ASSET
PLANNER

MINKABU
ASSET
PARTNERS

各金融機関

➤ MINKABU ASSET PLANNERは2022年10月25日より米国株対応を開始

MINKABU

ASSET PARTNERS

当社グループならではの金融サービスを展開予定

※金融商品仲介業登録手続中

オンライン接客ノウハウを活用したBPOサービスを証券会社向けに開始予定
金融商品仲介業ではMINKABU ASSET PLANNERと連携



MINKABU ACADEMY

～金融経済教育におけるデジタルプラットフォーム～

- 政府の金融経済教育に対する方針等を受け、MINKABU ACADEMY構想を再設計
- 事業会社に対して、福利厚生の一環として資産所得倍増プランを準じた役職員の資産形成支援を目的とした資産形成トータルソリューションを大手金融機関と連携し、来春サービス開始予定



現状把握
目標設定

NISA・iDeCo 加入者の拡大



「実践的な投資教育の体制（ループモデル）」

主な機能

セミナー配信(LIVE/オンデマンド)

いつでも好きな時に視聴可能

コミュニケーション機能

従業員間でのコミュニケーションの場

マーケット情報提供機能

ポートフォリオ配分変更やスイッチング
の目安となる情報を定期的に配信

シミュレーション機能

複利計算、取り崩し、ライフプラン等
あらゆるシミュレーション機能を搭載

経営・人事向け「見える化」機能

従業員の活動状況をトレースすることで
進捗管理や分析が可能

日本初のブロックチェーン技術を用いた
ソーシャルメディアプラットフォーム運営会社である(株)ALISを完全子会社化

(株)ミンカブWeb3ウォレットと連携し、新たな付加価値創造へ

MINKABU

 **livedoor**[®]

- 優良なコンテンツ投稿者に対するユーザー間インセンティブ
- 配信されたニュースをSNS等にシェアした際のデジタルインセンティブ
- 投稿者コンテンツのNFT化やそれに伴うソーシャルメディア内でのマーケットプレイス展開

 **ALIS**

「トークン発行」及び
「トークンエコノミー運営」ノウハウ

 **MINKABU
Web3-Wallet**

「NFTマーケットプレイス事業」及び
「NFTによる個人のアクティビティ証明事業」

更なる成長に向けた事業推進体制

メディア事業

MINKABU

Kabutan
by MINKABU

livedoor®

月間UU数8,000万人超の総合ネットメディアリソース

UGC・PGC／ビッグデータ／クラウドインプット等のコンテンツリソース

新たなユーザーエクスペリエンスの創出

MINKABU
Web3-Wallet

ALIS

Web3.0ベースの最新テクノロジーリソース

新たなソリューションサービスの創出

ROBOT
FUND

MINKABU
THE INFONOID

PropTech plus

MINKABU
ASSET PARTNERS

400社を超える金融各社の顧客基盤リソース

ソリューション事業

2019年3月に売上20億円で株式公開した当社は株式公開から5年で、
年商100億円超を確実にものとし、
新たなステージへと入ります



2019年3月期
(上場初年度)

2024年3月期E
(来期)

livedoor事業の連結影響度を含む2023年3月期連結業績見通しは
(株)ライブドアの子会社化後 (2022年12月28日) に必要に応じて開示予定

Q2総括

- 第2四半期累計は前年比17%増収の一方、中長期的成長に向けた先行投資の影響による営業減益と概ね**期首計画に沿った着地**
- ソリューション事業は大口獲得含め好調だが、メディア事業はGoogleのアルゴリズム変更や市況悪化等の影響を受けた。しかし、**livedoor事業の獲得によりその影響は相対的に限定規模となり、年度後半は一段突き抜けた収益レベルに**
- メディア事業・ソリューション事業ともに**各種機能強化が順調に進展**
- livedoorシナジー案件は着手を開始。総合アフィリエイトサイト「**livedoor Choice（仮称）**」を皮切りに順次顕在化
- **web3展開含め、売上100億円超のnext stageに向けたグループ推進体制の構築フェーズに突入**

05

APPENDIX
income statement

(単位：百万円 / %)

	21年3月期	22年3月期		23年3月期 計画		22年3月期 Q2	23年3月期 Q2	
	(連結)	(連結)	前期比	(連結)	前期比	(連結)	(連結)	前期比
売上高	4,158	5,482	+31.8%	7,500	+36.8%	2,427	2,840	+17.0%
メディア	1,535	2,353	+53.3%	3,100	+31.7%	1,034	1,081	+4.6%
ソリューション	2,635	3,148	+19.5%	4,400	+39.7%	1,399	1,780	+27.2%
調整額 ※1	△ 11	△ 20	-	-	-	△ 7	△ 21	-
営業利益	759	874	+15.2%	1,250	+42.9%	304	162	△46.6%
メディア	530	747	+40.8%	1,100	+47.2%	322	204	△36.7%
ソリューション	738	786	+6.5%	950	+20.8%	300	337	+12.5%
調整額 ※2	△ 509	△ 658	-	△ 800	-	△ 318	△ 379	-
経常利益	734	828	+12.8%	1,120	+35.2%	265	83	△68.7%
親会社株主に帰属する当期純利益	564	696	+23.3%	750	+7.8%	149	5	△96.5%
EBITDA ※3	1,280	1,539	+20.3%	2,150	+39.6%	623	529	△15.1%

※1 セグメント間の内部売上高の振替高

※2 セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用

※3 EBITDA (営業利益+減価償却費+のれん償却額)

※4 当社は2021年3月期第1四半期末付でロボット投信株式会社の株式を取得し、同社を連結子会社化しております。なお、同社の株式取得は2021年3月期第1四半期末であることから、2021年3月期第1四半期末は貸借対照表のみを連結しており、第2四半期より損益計算書を連結しております。

※5 当社は2021年9月1日付で株式会社ミンカブアセットパートナーズを設立し、同社を連結子会社化しております。

※6 当社は2022年5月1日付で株式会社ミンカブWeb3ウォレットの株式を取得し、同社を連結子会社化しております。

※7 百万円未満切り捨て

05

APPENDIX
balance sheet items

(単位：百万円 / %)

	21年3月末 (連結)	22年3月末 (連結)	22年9月末 (連結)	前期末比
流動資産	2,875	4,825	4,305	△10.8%
うち 現金及び預金	1,847	3,526	3,360	△4.7%
固定資産	4,114	4,932	5,303	+7.5%
資産合計	6,989	9,757	9,609	△1.5%
流動負債	1,251	942	747	△20.6%
固定負債	1,523	1,372	1,599	+16.6%
負債合計	2,774	2,314	2,347	+1.4%
資本金	1,762	3,514	3,531	+0.5%
資本剰余金	3,565	4,533	4,192	△7.5%
利益剰余金	△ 1,441	△ 745	△ 739	-
その他	29	39	75	+90.7%
非支配株主持分	298	100	202	+100.6%
純資産合計	4,215	7,443	7,261	△2.4%

※1 当社は2021年3月期第1四半期末付でロボット投信株式会社の株式を取得し、同社を連結子会社化しております。なお、同社の株式取得は2021年3月期第1四半期末であることから、2021年3月期第1四半期末は貸借対照表のみを連結しており、第2四半期より損益計算書を連結しております。

※2 当社は2021年9月1日付で株式会社ミンカブアセットパートナーズを設立し、同社を連結子会社化しております。

※3 当社は2022年5月1日付で株式会社ミンカブWeb3ウォレットの株式を取得し、同社を連結子会社化しております。

※4 百万円未満切り捨て

05 APPENDIX sales by segment

(単位：百万円 / %)

	21年3月期	22年3月期		23年3月期 計画		22年3月期 Q2	23年3月期 Q2	
	(連結)	(連結)	前期比	(連結)	前期比	(連結)	(連結)	前期比
メディア事業	1,535	2,353	+53.3%	3,100	+31.7%	1,034	1,081	+4.6%
広告収入	1,335	1,929	+44.5%	2,400	+24.4%	856	876	+2.3%
課金収入 ※5	166	392	+136.1%	700	+78.3%	161	192	+19.4%
その他	33	32	△3.2%	—	—	16	12	△23.5%
ソリューション事業	2,635	3,148	+19.5%	4,400	+39.7%	1,399	1,780	+27.2%
ストック収入	1,859	2,195	+18.0%	3,100	+41.2%	1,064	1,273	+19.7%
初期・一時売上	775	953	+22.9%	1,300	+36.4%	335	506	+51.0%
調整額 ※1	△11	△20	—	—	—	△7	△21	—
合計	4,158	5,482	+31.8%	7,500	+36.8%	2,427	2,840	+17.0%

※1 セグメント間の内部売上高の振替高

※2 当社は2021年3月期第1四半期末付でロボット投信株式会社の株式を取得し、同社を連結子会社化しております。なお、同社の株式取得は2021年3月期第1四半期末であることから、2021年3月期第1四半期末は貸借対照表のみを連結しており、第2四半期より損益計算書を連結しております。

※3 当社は2021年9月1日付で株式会社ミンカブアセットパートナーズを設立し、同社を連結子会社化しております。

※4 当社は2022年5月1日付で株式会社ミンカブWeb3ウォレットの株式を取得し、同社を連結子会社化しております。

※5 課金収入は、サブスクリプション型月額利用料に加え、法人向けOEM提供による初期導入及び月額利用料を含めて表示しております。

※6 百万円未満切り捨て

05 · APPENDIX fixed expenses

(単位：百万円)

	21年3月期	22年3月期		23年3月期 計画		22年3月期 Q2	23年3月期 Q2	
	(連結)	(連結)	増減	(連結)	増減	(連結)	(連結)	増減
単体	1,236	1,573	336	2,030	457	744	871	127
人件費	666	837	171	1,180	342	404	502	98
オフィス・インフラ・租税公課等	177	205	27	260	54	104	121	16
減価償却費（原価+販管費）	351	489	137	549	60	215	227	11
減価償却費（M&A関連償却費）	40	40	—	40	—	20	20	—
連結子会社	954	1,041	86	1,557	516	535	641	106
減価償却費	32	31	0	206	175	32	64	31
減価償却費（M&A関連償却費）	96	103	6	103	—	51	55	3
その他固定費	825	905	80	1,247	341	450	521	70
連結合計	2,190	2,614	423	3,588	973	1,279	1,512	233

※1 人件費は、給与（法定福利費含む）、雑給、退職給付費用、福利厚生費、採用手数料、旅費交通費（通勤手当含む）の合計

※2 減価償却費（M&A関連償却費）は、のれん、顧客関連資産、技術資産の償却合計

※3 当社は2021年3月期第1四半期末付でロボット投信株式会社の株式を取得し、同社を連結子会社化しております。なお、同社の株式取得は2021年3月期第1四半期末であることから、

2021年3月期第1四半期末は貸借対照表のみを連結しており、第2四半期より損益計算書を連結しております。ロボット投信の費用は2021年3月期第2四半期（7～9月）から連結子会社へ含めております。

※4 当社は2021年9月1日付で株式会社ミンカブアセットパートナーズを設立し、同社を連結子会社化しております。

※5 当社は2022年5月1日付で株式会社ミンカブWeb3ウォレットの株式を取得し、同社を連結子会社化しております。

※6 百万円未満切り捨て



MINKABU THE INFONOID

本資料に記載されている情報のうち、歴史的事実以外の情報は、将来の見通しに関する情報を含んでいます。将来の見通しに関する情報は、当社が現在入手している情報に基づく、現時点における予測、期待、想定、計画、評価等を基礎として記載されており、リスクや不確実性が含まれています。当社は将来の見通しに関する記述の中で使用されている定期予測、評価ならびにその他の情報が正確である、または将来その通りになるということは保証いたしかねます。本資料に記載されている情報は、本資料に記載の日付に作成され、その時点における当社の見解を反映するものであり、このため、その時点での状況に照らして検討されるべきものであることにご注意ください。当社は、当該情報の作成日以降に発生した事を反映するために、本資料に記載された情報を逐次更新及び報告する義務を負いません。